

秋号 みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和 9 年 1 月 16 日(土)10:00～12:00
場所：21 世紀記念公園とんがりふれあい館ホール
定員：20 名
内容：季節の寄せ植え
受講料：2,000 円

募集期間：令和 8 年 12 月 8 日(火) 9:00 から
令和 8 年 12 月 17 日(木) 17:00 まで
申込方法：電話、FAX、メール又は窓口で受付
定員を超えた場合は抽選となります。

【みどり講習会】* 受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール
対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和 8 年 10 月 25 日(日)10:00～12:00
内容：冬の手入れ方法
日時：令和 8 年 11 月 29 日(日)10:00～12:00
内容：土壌改良、肥料
日時：令和 9 年 3 月 14 日(日)10:00～12:00
内容：病気、害虫の防除
* 樹木医による園芸に関する講座です。

今年も高い山から紅葉の便りが届く季節となりました。市街地でも既に色づき始めている植物もあります。そして 11 月に入れば霜も降りようになります。寒さはそこまで来ています。それまでに花を開かせているものや、それ以降にも寒さに負けず来春まで花をつけている植物もあります。また春に開く蕾も膨らんできています。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

この秋に植えた場合は特に来春までの間、乾燥が続くときには水やりが必要です。落葉樹で葉が落ちていくからといっても水分は必要です。常緑樹ならなおさらです。樹冠全体に水をかけてあげます。根まで届くようにしっかりとあげてまた乾燥したならばあげるというようにします。乾燥と寒さから守るために根元を腐葉土やワラでマルチングをしてあげると効果的です。

* マルチングとは地表をワラなどの資材で敷き詰めることです。

年内は地面が凍り付く心配は少ないと思いますが、寒さが厳しくなったら暖かい日の早い時間帯にあげるようにします。

【植替え】

常緑広葉樹（ツバキなど）や針葉樹などはこれから季節は、植え替えには向きません。来春まで待たほうが無難です。いっぽう落葉樹は適期になります。枯れたりする心配は少ないです。植え付ける時には、土壌を植物にあった状態にすることが一番大事です。土壌の基本用土は赤玉土 6 から 7 割、腐葉土を 3 から 4 割と言われています。鉢植えの場合、小さな鉢は小粒で大きな鉢は大きな粒の用土にします。市内で多く使われている山砂は向いていないので改良が必要となります。赤玉土と腐葉土などを混ぜてあげます。野菜を育てる時には石灰を混ぜ込むと良いといいますが、樹木は一般的に必要なとはしません。

特にツツジ類などにあげてしまうと葉が黄色に変色して弱ってしまいます。国内の多くの樹木は弱酸性を好むためです。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。

植物は病気にもなるし害虫の被害も受けます。少しでも被害を抑えるためには病気に侵された葉や害虫の卵や幼虫は取り除いておかなければなりません。越冬場所となる落ち葉などは掃き集めて処分しておきます。また退治しにくいアブラムシやカイガラムシなどに対しては冬季に使用できる薬剤もあるので使用してみてください。

【剪定】

針葉樹のマツ類はこれからの季節に古葉を取り除き混みあった枝を間引く作業をします。そうすることによって観賞価値が上がり、雪による枝折れの被害も低減できます。それ以外の針葉樹は来春になってから剪定を行います。常緑広葉樹は寒さが苦手なので強い剪定を好みません。行くと弱ってしまうことが多々あります。せいぜい幹に近い内側の弱っている枝や徒長枝を切るくらいにします。落葉樹は本格的な剪定ができます。ただし切りすぎることによって来春にそこから強い枝が伸びて樹形が乱れてしまうこともあります。花芽も切ってしまうことにもなります。切りすぎないようにしてください。

【肥料】

寒肥の時季は年明けからが無難です。この時期にあげてしまうといつまでも吸い続け軟らかく育ってしまい寒害を受けてしまうこともあります。寒さが厳しくなってから有機質緩効性肥料（油粕など）をあげてください。

【冬越し】

寒さに弱い植物は鉢植えの場合は取り込んで寒さから守ってあげます。庭植えの場合で移動ができないときには寒さ除けのシートなどで覆ってあげます。ベタ掛けシートの名で売られています。また根元を資材でマルチングしてあげると効果が上がります。

【肥料】

寒肥の時期は年明けになります。有機質緩効性肥料（油粕など）を撒くと葉の色つやや育ち方が格段に違います。ぜひ試してください。年内、肥料をあげ続けるといつまでも柔らかく育ってしまい寒害を受けやすくなります。

【紅葉】



世界三大紅葉樹のひとつ スズランノキ

市街地でもすでに燃えるような赤です。

【異常な事態】

皆さんは竹林が枯れているのを見かけませんか？その竹の種類はハチクとその仲間のクロチクです。数年前から枯れ始めています。竹は一生に一度花をつけ枯れていってしまいます。ハチクは120年に一度といわれています。そのような年回りになってきているということです。地下茎すべてが枯れてしまうわけではないのでまた数年後に復活すると思われます。

9月の初めごろからケヤキの葉が茶色に枯れてきています。すでに落ち葉を掃き集めなければならないような状態です。異常な高温乾燥や害虫の発生が原因かもしれません。

